



たぐちほいくえん  
大川市三丸 164-1  
TEL 88-2321  
2020.7.1

元気に外を駆け回る子どもたちの汗がキラキラ輝いています。7月は気温・湿度がぐんぐん上がり、暑さのピークを迎える時期です。園では新型コロナウイルス感染症だけではなく、この時期特有の感染症や熱中症対策など子どもたちの健康管理や安全対策に十分気を付けながら、今月も楽しく過ごしていきたいと思ひます。ご家庭でも早寝・早起きして規則正しい生活を心がけ、十分な栄養を摂取しましょう。また引き続きお子様の朝の検温のご協力をお願いいたします。

お日様の光を浴びて園庭の朝顔や野菜がすくすくと育ち、子どもたちも生長を感じているようです。

## 7月の行事予定

6日(月)	水あそび開始 すいか割りを各クラスで楽しみます
7日(火)	七夕(さくら組の祖父母招待はありません)
18日(土)	夏まつり(中止となりました)
22日(水)	誕生会
29日(水)	愛情弁当の日



大きなきゅうりがとれました

給食の時間ステックきゅうりにしてもらい食べました  
おいしかった!!



\*七夕・プールあそび・夏まつりと例年実施している行事が多い月ですが、園では子どもたちの安全を最大限に考慮した上で、行事の内容を変更して行ないたいと考えております。

早速ですが、18日(土)に予定していましたが夏まつりは保護者様の参加を中止し、子どもたちだけの夏まつりを17日(金)に開催したいと思います。その日はマジシャンの方をご招待してマジックショーを観覧したり出店で買い物したりして楽しみたいと思います。



### 意見・要望・苦情処理コーナー

- 6月の意見・要望・苦情はありませんでした。

## おねがい

内科検診・歯科検診の検診結果で、治療が必要なお子様は必ず病院に受診し、治療をお願い致します。また、予防接種の未接種のお子様や追加接種が必要なお子様は必ず予防接種を受けて下さい。接種されましたら、担任までお知らせ下さい。ご協力よろしくお願い致します。



## 夏の感染症

夏に多く見られる感染症。予防を心がけていても、かかってしまうことがあります。その時の対処法を確認しておきましょう。

### 手足口病

**症状** 手のひら、足や足の裏、ひじ、ひざの周りや臀部に赤く細かい発疹や口の中、舌、のどの周囲に水疱ができます。痛みで水分や食事がとれなくなることもあります。ウイルスの種類によっては無菌性髄膜炎などの合併症を起こすこともあるため、注意が必要です。  
**家庭では** 脱水を起こさないように水分補給を心がけます。口の中を痛がる時は、刺激が少ない口当たりのよいものを与えます。発熱もなく食欲もあれば登園も差し支えありません。おとなにも感染するので注意します。



### ヘルパンギーナ

**症状** 急な高熱(38~40℃)が出て、2~3日続きます。のどの痛み、よだれが増える、食欲の低下、不機嫌などの症状が見られます。鼻水、くしゃみ、せきなどはほとんどありません。  
**家庭では** のどの痛みがうまく伝えられない乳幼児では、よだれが多いことも特徴のひとつです。のどの痛みにより、固形物を嫌がる時は、のどごしのよい食べ物や飲み物を与えます。熱が下がり、飲食が十分にできるようになるまで、園は休ませましょう。



### 咽頭結膜熱(プール熱)

**症状** 急な高熱(38~40℃)が出て、のどの痛みやだるさがあります。目が真っ赤に充血し、首のリンパ節が腫れます。のどの奥が赤くなり、白っぽい分泌物が出ます。熱は3~4日続き、全身症状がよくなるまで1週間程度かかります。  
**家庭では** 安静にし、高熱やのどの痛みによる脱水に注意します。食事は、のどごしがよく、やや冷たいもの、甘いもの(ゼリーなど)を与えます。おもな症状(発熱、目の充血、のどの痛み)がなくなった後、2日を経過するまで登園できません。



### 流行性角結膜炎(はやり目)

**症状** 1~2週間の潜伏期間後、急に発症します。結膜の充血、かゆみ、ゴロゴロした異物感、まぶたの腫れ、粘り気のある目やになどの症状が見られます。  
**家庭では** 感染力が強いため、目の充血や目やになどの症状がなくなり、感染の恐れがないと医師に認められるまで登園はできません。家庭内での感染が広がらないように手洗いを心がけ、タオルは共有せず、ドアノブや蛇口などの消毒を行います。

